

平成21年度
第17回全国科学博物館協議会研究発表大会開催要項

1. 趣 旨 科学系博物館に共通する課題や各館の活動成果について発表及び協議し、学芸員等博物館専門職員の活動の一層の充実に資する。
2. 期 日 平成22年2月25日(木)・2月26日(金) [2日間]
3. 主 催 全国科学博物館協議会、仙台市科学館、財団法人科学博物館後援会
4. 会 場 仙台市科学館 (仙台市青葉区台原森林公園4-1)
5. テーマ 「連携—その先の未来へ」
6. 日 程 (敬称略)

平成22年2月25日(木)

- 13:15～13:50 理 事 会
- 13:30～ 総会受付
- 14:00～14:35 総 会 【会場：仙台市科学館特別展示室】
- 14:35～15:00 平成21年度海外科学系博物館視察研修 報告
(交通科学博物館 遠山 由希子)
- 15:00～15:30 文部科学省博物館振興施策等概要説明
(文部科学省生涯学習政策局社会教育課企画官 岩佐 敬昭)
- 15:30～16:00 休 憩
- 16:00～17:00 特別講演「仙台における博物館連携の新たな取り組み
～仙台宮城ミュージアムアライアンスについて～」
(せんだいメディアテーク 副館長 佐藤 泰)
- 17:10～19:00 懇 親 会 【会場：仙台市科学館エントランスホール】

平成22年2月26日(金)

- 9:00～ 受 付
- 9:30～9:35 開会挨拶
- 9:35～10:35 基調講演「連携から生まれるもの ～科学系博物館の潜在力～」
(科学技術振興機構 エキスパート 渡辺 政隆)

- 10 : 35～10 : 40 休 憩
- 10 : 40～11 : 00 事例発表① 連携が作った「チリメンモンスター」
(きしわだ自然資料館 風間 美穂)
- 11 : 00～11 : 20 事例発表② ジオパーク活動を通しての地域住民と学校との連携
(磐梯山噴火記念館 佐藤 公)
- 11 : 20～11 : 40 事例発表③ まちへ出ておこなった地域連携、施設連携の事業
～鳴く虫と郷町～ (伊丹市昆虫館 坂本 昇)
- 11 : 40～13 : 20 昼食・休憩

- ★実験室見学 12 : 00～12 : 20 / 以下の5会場で一斉に演示実験を実施
- [2階] 実験室1 (物理) 「エネルギー」～変換と効率～
- 〃 実験室2 (生物) 「植物は何色が好き？」－植物と光－
- 〃 実験室3 (地学) 「地球を測る」－地球の形・大きさ・内部－
- 〃 実験室4 (化学) 「化学電池」－簡単な電池から燃料電池まで－
- [3階] チャレンジ・ラボ 「プラ板をつくろう」及び「キラキラレインボー」
- ★「チリメンモンスター」実演 12 : 40～13 : 10 / 大会会場内
- ★ポスターセッション (コアタイム) 12 : 50～13 : 10 / 大会会場内

- 13 : 20～13 : 40 事例発表④ 情報発信を意識した地域連携
(愛媛県総合科学博物館 小林 真吾)
- 13 : 40～14 : 00 事例発表⑤ 地域を日常的な学びの場に変える「学びのデザイナー」
育成事業 (岐阜県博物館 浦崎 太郎)
- 14 : 00～14 : 20 事例発表⑥ 軌道星隊シゴセンジャーの活躍と連携について
(明石市立天文科学館 井上 毅)
- 14 : 20～15 : 00 討議とまとめ
(コーディネーター：国立科学博物館 亀井 修)
- 15 : 00～16 : 45 施設見学 ※概要説明 (仙台市科学館 小岩 康子)
※見学後は自由解散